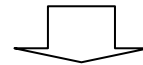




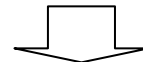
## 競争政策研究センター（CPRC）について

### 1 CPRC（Competition Policy Research Center）とは

独占禁止法（競争法）に基づく規制は、独占の弊害という経済学上の理論をその根拠の一つとして行われており、法と経済学が極めて密接に関係している領域である。また、独占禁止法の執行及び競争政策の運営は、公正かつ自由な競争を維持・促進することにより、一般消費者の利益を確保するとともに、技術革新や産業の新陳代謝の促進を通じた経済の活性化及び経済成長を実現することを目的とするものである。したがって、独占禁止法の執行及び競争政策の運営を的確に行っていくためには、その理論的基盤を整備し、法学、経済学の新しい知見を取り込み、より緻密に経済実態や競争状況を把握するなどのための調査手続や分析枠組みを常時洗練させていく必要性が高い。



このような理論的かつ実証的な裏付けに基づいた適切な法執行や競争政策の運営を実施し、かつ、適切に発展させていくためには、独占禁止法の執行及び競争政策の運営を担う公正取引委員会、法律及び経済学の理論を担う学界、法律や経済の実務を担う法曹や経済界が、競争政策に関する情報を共有し、密接に意見交換を行い、相互に補い合いながら協働を進めていくことが不可欠である。



このような問題意識の下、公正取引委員会は、平成15年6月、事務総局内に「競争政策研究センター」（CPRC）を発足させた。同センターでは、外部の研究者や実務家と公正取引委員会職員との協働による研究等、独占禁止法及び関連する法律の執行や競争政策の企画・立案・評価を行う上での理論的な基礎を強化するための活動を展開している。

## 2 CPRCの構成（平成24年度）

### 所長

岡田 羊祐 一橋大学大学院経済学研究科教授

### 主任研究官

大久保 直樹 学習院大学法学部教授  
大橋 弘 東京大学大学院経済学研究科教授  
武田 邦宣 大阪大学大学院法学研究科准教授  
土井 教之 関西学院大学経済学部教授

### 客員研究員

青柳 由香 東海大学法学部専任講師  
安藤 至大<sup>むねとも</sup> 日本大学大学院総合科学研究科准教授  
泉 克幸 京都女子大学法学部教授  
植村 吉輝 阪南大学経済学部准教授  
川濱 昇 京都大学大学院法学研究科教授  
北村 紘 京都産業大学経済学部助教  
泉水 文雄 神戸大学大学院法学研究科教授  
多田 英明 東洋大学法学部准教授  
田中 辰雄 慶應義塾大学経済学部准教授  
長谷河 亜希子 弘前大学人文学部准教授  
柳川 範之 東京大学大学院経済学研究科教授

### 3 CPRCの最近の活動状況

#### 共同研究

##### (1) 平成24年度共同研究テーマ

- EU国家補助規制の考え方の我が国への当てはめについて
- グローバル市場における競争優位と国内市場における競争状況について
- 電子書籍市場の動向について
- カルテル事件における立証手法の検討－状況証拠の活用について－
- 排他条件付取引への経済学的考え方の活用

##### (2) 最近の研究成果の公表

①「企業結合の事後評価－経済分析の競争政策への活用－」（平成23年11月公表）

###### 【本研究の目的】

これまで実施されてきた企業結合が「収益力の向上」等の効率性を達成できたのか検証するため、平成12年以降の企業結合事例を使用し、利益率、株価、研究開発費・公開特許件数及び商品の小売価格のデータから企業結合の成果を実証的に検証。

###### 【本研究によって得られた結論】

本研究が対象とした事例によれば、平均的には企業結合により収益性を改善するほど効率性が向上したとはいえず、資本市場も企業結合をプラスに評価したといえず、また、研究開発活動が促進されたともいえない。

②「カルテル規制における経済分析の活用－CPRCハンドブックシリーズ No. 2－」（平成24年2月公表）

###### 【本研究の目的】

どのような産業でカルテルが生じやすいか、すなわち、カルテルの発生と産業の構造的要因について製造業のデータを用いて実証的に分析。

###### 【本研究によって得られた結論】

一般的に、産業規模が縮小傾向にある産業、需要環境が安定しており将来の経済環境について見通しがつきやすい産業、新たに事業を始めるに当たって多額の費用を要するなど参入障壁が高い産業でカルテルが起きやすい。

#### 最近の公開イベント

第29回公開セミナー（平成24年5月18日開催）

テーマ：「企業再生への国家の関与と競争政策」

講師：富山 和彦 株式会社経営共創基盤（IGPI）代表取締役 CEO

コメンテーター：土井 教之 CPRC 主任研究官・関西学院大学経済学部 教授

第30回公開セミナー（平成24年6月14日開催）

テーマ：「競争法の観点からみた特許紛争－欧米のIT分野における動向を中心として－」

講師：和久井 理子 立教大学法学部特任教授

コメンテーター：岡田 羊祐 CPRC 所長・一橋大学大学院経済学研究科 教授

共同研究報告書、公開イベントの講演記録・資料については CPRC ホームページで公表 (<http://www.jftc.go.jp/cprc/index.html>)

## ① 共同研究報告書

・平成23年度

公表年月日	タイトル
23. 4. 27	連続寡占市場における企業行動の反競争効果に関する研究
23. 7. 15	排他的取引契約の反競争効果と競争促進効果の考察
23. 11. 9	規制の競争への効果の分析－広告時間の自主規制に関する経済分析－
23. 11. 17	企業結合の事後評価－経済分析の競争政策への活用－
23. 12. 9	保険業における競争法の適用除外制度に関する比較法的研究－EU競争法との比較検討を中心として－
24. 2. 6	競争政策で使う経済分析ハンドブック－CPRCハンドブックシリーズ No. 1－
24. 2. 6	カルテル規制における経済分析の活用－CPRCハンドブックシリーズ No. 2－
24. 2. 27	企業結合による技術の集積効果の事後的検証
24. 3. 26	再販売価格維持行為の法と経済学

・平成24年度

公表年月日	タイトル
24. 7. 27	競争法の観点からみた国家補助規制－EU競争法の議論を参考に－

## ② 国際シンポジウム

開催年月日	テーマ
22. 2. 19	東アジア諸国の経済発展における競争政策の役割
23. 3. 4	競争法と企業結合規制
24. 3. 9	カルテル・談合の経済分析と独占禁止法

③ 公開セミナー

・平成23年度

開催年月日	テーマ
23. 6. 3	競争政策・規制影響分析の発展に向けて
23. 6. 17	企業の提携・部分的結合の経済分析と競争政策
23. 10. 12	中国独占禁止法の運用状況と今後の課題
23. 12. 9	流通市場における買手パワーの競争への影響について

・平成24年度

開催年月日	テーマ
24. 5. 18	企業再生への国家の関与と競争政策
24. 6. 14	競争法の視点からみた特許紛争-欧米のIT分野における動向を中心として-